

初めて合唱を志す方へ

【2】発声練習でのカデンツについて

●「カデンツ」とは

カデンツとは、和音（ドミソやファラドやソシレ）同士の連結において模索された法則です。

曲の終止に向かう和音進行を最も簡単な進行としたもので、練習では、和音を感じながら曲の終わりへの進行を意識して歌うような意味があります。

その時、ハーモニーの素晴らしさを味わうように心がける必要があります。

●自分のパートはどう歌うのか

・男声合唱では次の2種類を使うのが一般的です。

【標準】

【転回】

・我々も混声合唱で歌う事があります。その場合次の2種類が一般的です。

【標準】

【転回】

●もっと詳しく

ある人はカデンツ練習の意義を次のように書いています。(1)についてはさらに詳しく説明されています。

カデンツ練習の意義

- (1) 他パートとのハモリを感じる(きれいなハーモニーを作る)。
- (2) 終止への流れを感じ、古典音楽の終止を理解する。
- (3) 長調、短調の質の違いを理解する。

(1) 他パートとのハモリを感じる(きれいなハーモニーを作る)。

「曲」であると思って、他パートと音をよく聴きましょう。自分のペースで自分のパートだけを意識して歌ってしまうようではきれいなハーモニーを作れません。

きれいなハーモニーを作るには和声の知識が必要になって来ます。少しだけ勉強しましょう。

和音のなかでのそれぞれの音に役割があります。

- 根音…和音の性質を決める上で最も重要な音
- 三音…和音に明暗の表情を加える音
- 五音…根音を補助する音

カデンツを歌うときは、和音の構成をしっかりと意識して歌うことが大切です。

根音:しっかり出す。

第三音:(長調の場合)明るい和音になるので、明るい音質で歌う。]強過ぎるととどくなる。

第五音:根音をしっかり聞き、和声の調子を整える。明るめな声質で歌う。

といったところでしょうか。

実際に自分のパートが和音の中のどこを歌っているか、確認してみましょう。の場合について

根音を赤・第三音を緑・第五音を青で「男声その1」のカデンツに色塗りして見ると……? (ここではバリトンはト音記号の方)

The image shows a musical score for a cadence in C major. It consists of two staves: a treble clef staff (Soprano/Alto/Tenor) and a bass clef staff (Bass). The bass line is: C (red), F (red), C (red), G (red), C (red). The chord symbols below the bass line are: I, IV, I², V, I. The notes in the treble staff are: C (red), E (green), G (blue), C (red), E (green), G (blue), C (red), E (green), G (blue), C (red). The notes are color-coded: red for root (C), green for third (E), blue for fifth (G).

- ・Bass は基本的に根音を歌うので赤が多いですが、他パートでは音によって和音の働きが違うことが良くわかります。
- ・Second はソラソソソといった簡単なおんけいですが、役割を見てみると、第五音→第三音→第五音→根音→第五音 とそれぞれ違った役割を持っています。
- ・Top Tenor の4つめのおと、第三音のシは導音で、ド(主音)に向かうという強い性格があります。なので、この音をうるさく歌うとVの和音が崩れてしまいます。

このようにそれぞれの音には特徴、役割などがあるため、頭の片隅で理解しつつ歌う必要があります。そうすれば単純な音形でも、合わせようとする気持ちも高くなりますし、和音にふさわしい声を出せると思います。

これは一人ひとりが気を付けなければならない、いわば最初の段階です。音を辿るだけの練習は絶対に役に立ちません。

(2)終止への流れを感じ、古典音楽の終止を理解する。

省略

(3)長調、短調の質の違いを理解する。

省略しますが、各パートの例を示しておきます。混声のハ短調のカデンツで、最後にハ長調に転調する例です。

The image shows a musical score for a cadence in C minor. It consists of four staves: Soprano, Alto, Tenor, and Bass. The key signature has two flats (Bb, Eb). The notes are: Soprano: C, Bb, Ab, G, F, Eb, C; Alto: C, Bb, Ab, G, F, Eb, C; Tenor: C, Bb, Ab, G, F, Eb, C; Bass: C, Bb, Ab, G, F, Eb, C.